

## スポーツフェスタの経験を土台に次の一步へ

菊の香かおる秋の暮れとなりました。平素は、聖母の小さな学校の教育にご理解とご協力をいただき、深く感謝致しております。コロナ禍に伴う「学校の新しい生活様式」下の教育活動も、消毒、マスク着用等を次第に習得し、生徒たちも本来の目標である社会的自立に向けた学びに取り組むことができるようになりました。そのような中、去る10月10日(土)「スポーツフェスタ2020」を実施いたしました。縮小の形ではありましたが、舞鶴市教育委員会教育長はじめ、教育理事、また各原籍校から教頭先生、担任等出席いただき、生徒や保護者を励ましてくださいました。また、特に20余名の卒業生とその保護者が駆け付け、協力してスポーツフェスタを共に作り上げていく生き生きとした姿は、現役生、保護者の希望となりました。

生徒たちはテーマを決めること、パネルを制作すること、集団演技の手話歌を練習することなどに徐々に本腰を入れ、丁寧に自身の不登校を受け止め、ありのままの自分を出発点に、「生きよう」「やっいていく!」というスタートを獲得しました。保護者も、子どもたちが「テーマを決めるために自分の気持ちに向き合い、作文を書くことは本当に難しく困難なことだけど、投げ出さずに心の中を表現した」とか、「今までは嫌な事から逃げるばかりの我が子が、逃げずに取り組んだ」と子どもたちの姿を見て励まされ、「この子と共に歩んでゆけたらと、思っている」とか「自分の心をごまかさずに、正直に生きることを大事にしたい」など、自分自身を見つめ、改めて親と子の在り方を考える機会になったようです。これも、参加して下さった皆様が、聖母の小さな学校を理解し、肯定して下さっていることによります。教育長はテーマについて、「どれも素直で正直で誠実な言葉ひとつひとつに感動しました。自分自身を正直に誠実に見つめるといことは、大人である私たちにとっても難しいことです。それを言葉というものに表現することは大変な努力を必要とします。…見事にやり遂げた3名の生徒の皆さんの努力に心からの拍手を送りたい…」と励ましてくださいました。生徒はスポーツフェスタ以降、自分たちのこのテーマ「現実の自分から逃げることは大丈夫と自分に思い込ませていた。けど、逃げ切れないと分かった。焦った。どうしていいか分からず、苦しかった。でも、自分はやっいていく!」をもとに学んでいきます。「やっいていく!」…ある生徒は、聖母へ意欲的に登校し、宿題を忘れないことだったり、ある生徒は、人と共にいる時間を増やし、交流を多様にする事だったり、ある生徒は、半分原籍校へ戻りながら、自分自身が集団生活や学びをする上での困難さに気づくことだったり、様々ですが、それぞれが社会的自立に向かって自分のスタート地点に立てました。本当にありがとうございました。そして、いよいよ11月から創立30周年記念企画「鯖街道を歩く」が始まります。また、他にも新たな授業が加わります。家庭科(裁縫)と珠算です。生徒の体の動きと脳の活性化を図りたいと思います。今月もよろしく願いいたします。



### <今月の主な行事>

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1日(日)「鯖街道を歩く」   | 13日(金)・20日(金) ギター教室 |
| 6日(金)・9日(月) 家庭科 | 17日(火)・24日(火) 珠算教室  |
| 12日(木) 華道教室     | 23日(祝・月) 親子バス遠足     |